

青森県基本計画重点事業

「社会福祉法人による地域共生社会 西北モデル強化事業」

◇モデル地域
つがる市、中泊町

◇実施期間
令和4～6年度

◇事業内容
社会福祉法人、社会福祉協議会、地域の三者
による地域連携プラットフォームを構築し、新たな
地域貢献活動に取り組む

【R2～3年度 モデル事業の成果】

(モデル地域:五所川原市・鶴田町)

① 社会福祉法人等による地域連携プラットフォームの構築

→ 各市町の全社会福祉法人・行政・地域団体等で組織する社会福祉法人等連絡協議会を設立。

「地域の課題を地域で解決」していく基盤が構築された。

② 社会福祉法人・社会福祉協議会・地域の三者協働による地域貢献活動モデルの構築

→ 法人の負担軽減・役割分担を図りながら、地域のニーズや特徴・強み等を踏まえた具体的な活動モデルが構築された。



五所川原市:五所川原こども宅食おすそわけ便

鶴田町:つなぐ!!つながる!!暮らしのよりどころ相談所

R4 8,000千円
 R5 12,121千円
 R6 12,292千円

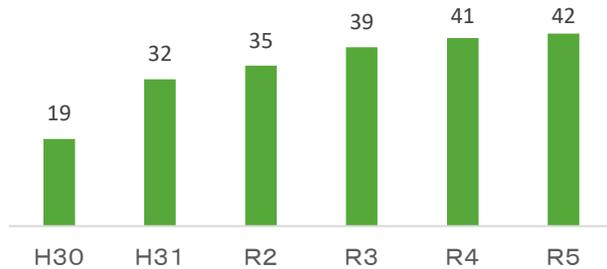
社会福祉法人による地域共生社会西北モデル強化事業

事業の目指す姿（アウトカム）

現状 → 事業終了後の姿

- 地域共生社会の実現に向けた生活支援サービス等の提供に係る多様な担い手の不足

地域貢献の取組を行っている社会福祉法人数
 (各年度4月1日現在 管内法人数70)



- 社会福祉法人等による地域連携プラットフォームの構築による効果的・主体的な地域貢献活動の実施 (R3年2か所→R6年4か所)

課題

- ・小規模社会福祉法人の地域貢献活動を促進するため、人材不足の解消とネットワーク化が必要
- ・地域住民の健康課題や医療ニーズに対し、疾病・介護予防等に関する暮らしの身近な健康支援活動が必要



目指す姿を実現するための取組（アウトプット）

地域共生社会の実現に向けた西北地域の取組を推進するため、社会福祉法人・社会福祉協議会・地域の三者協働による西北モデルを構築し、地域の健康と暮らしを守る地域ナース活動等の新たな地域貢献活動に取り組む。（モデル地域：つがる市、中泊町）

取組1 社会福祉法人地域ネットワーク構築

◆地域連携プラットフォーム構築と地域ニーズの把握

モデル地域に社会福祉法人等連絡協議会を設置。地域ニーズ等を踏まえた地域貢献活動への取り組みについて検討する。



取組2 地域貢献活動 人材確保・育成

◆社会福祉法人の地域貢献活動に係る人材確保・育成を支援

不足する福祉・介護人材の確保・育成及び地域貢献活動の実施に要する人材の養成に向けた各種セミナー開催、就労相談窓口設置等



取組3 社会福祉法人による地域貢献活動モデル実証

◆法人・社協・地域の三者協働による地域貢献活動モデルの実証

【活動モデル①】地域ニーズ等を踏まえた地域貢献活動

困りごと相談窓口の共同設置、多世代交流などの共生の場づくり
 災害時における連携・支援体制の構築等

【活動モデル②】地域ナース活動

講座を受講した看護師等が地域を巡回し、普段から健康意識を高める。アプローチや、保健・医療・福祉・行政等への橋渡し等を行う活動



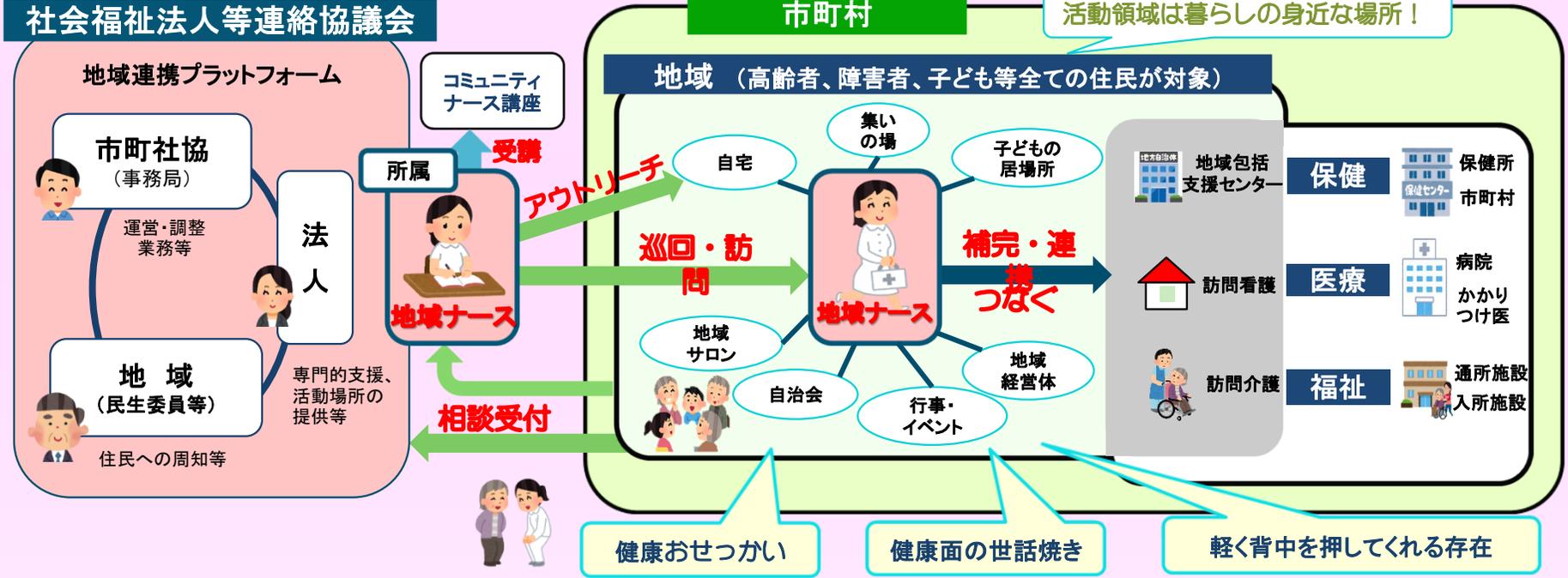
取組4 社会福祉法人による地域貢献活動モデル普及促進（R6のみ）

◆実証事業で得られた知見の横展開

視察受入れやSNS,HP等による情報発信や実証結果報告会の開催等により、活動モデル等についての県内他地域への横展開を図る。

【モデル活動】 地域の健康と暮らしを守る“地域ナース”活動

【地域ナースとは】地域の中で、日常的に住民と接することにより、普段から健康意識を高めるアプローチや、病気の早期発見、保健・医療・福祉、行政機関への橋渡しを行う医療人材。いわば「医療の知識を持った民生委員」のような存在。全国では「コミュニティナース」の名称で活動。



【活動内容】健康チェック（血圧測定等）、健康相談・教室（フレイル対策等）、健康指導（栄養・服薬指導等）、専門機関への繋ぎ、見守り など
 【活動方法】地域サロン・集いの場・行事等への参画、「まちの保健室」の開設、町内会等での講話、広報配布、個別訪問・声掛け、SNS など

・予防を重視した健康づくり支援(疾病・重症化予防)
 ・適時適切な保健・医療・福祉サービスへのつなぎ

・平均寿命・健康寿命の延伸、地域医療・介護の負担軽減
 ・住民が地域において生涯にわたり健康で安心した生活を送ることができる

保健・医療・福祉包括ケアシステムの更なる充実・深化